

「第7回 那賀川学識者会議」の開催について

—那賀川水系河川整備計画の点検報告について—

国土交通省四国地方整備局および徳島県では、平成19年6月に「那賀川水系河川整備計画」（以下「整備計画」という）を策定し、鋭意、河川整備を進めています。

一方、整備計画策定後に発生し戦後最大流量を記録した平成26年8月台風11号洪水や、平成27年9月関東・東北豪雨による鬼怒川等で得られた新たな知見および那賀川の現状に対する課題を踏まえ、整備計画の点検を行いました。

そこで、現在の整備計画の進捗状況等をご確認いただくとともに、整備計画の内容の点検結果等についてご意見をいただくため、河川に関する各分野から11名の学識者にご出席いただき、平成27年12月24日（木）に第7回那賀川学識者会議を阿南ひまわり会館にて開催しました。



今回の会議において各委員からいただいた主なご意見等は下記のとおりです。

- ・ 鬼怒川での災害を踏まえ、もし那賀川でも同等の災害が起こったらどうなるのか検討が必要である。
- ・ 防災対策の中に環境面への配慮を求められる時代になっているので、事業実施の際には環境へ配慮してほしい。
- ・ 河川環境を調査し、重要種がいる区間については代償地を作る等の検討を行ってほしい。
- ・ 関係機関との情報共有や連携を今以上に図り、流域視点・長期的視点に立った効果的な洪水対策・土砂対策に取り組んでほしい。
- ・ 那賀川の整備計画に基づいて、現在の整備目標をまだできていないところについてはできるだけ早く着実に行ってほしい。



会議の最後に湯城議長より、激甚化・局地化・頻発化すると予想される雨の降り方に対する検討や対応、また、流域での土砂管理の問題、治水、渇水の問題、環境、利活用などについても検討が必要であり、整備計画の変更が必要と総括いただきました。

今後、今回の会議でいただいたご意見等を踏まえ、整備計画の変更原案の作成を進めていきます。